

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ事務局 御中
公益財団法人日本手芸普及協会 御中

アフガニスタン・イスラム共和国
2017 年度子どもたちへの手編みセーター等
配布事業



完了報告書

2018 年 2 月 23 日

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2
ハーモニータワー3F
TEL. 03-5334-5350 Fax. 03-5334-5359
URL: www.worldvision.jp

御礼

貴社・貴会によりご支援をいただきました、アフガニスタン「子どもたちへの手編みセーター等配布事業」が完了しましたので、ここに感謝とともにご報告致します。

今年もアフガニスタンの路上で生活している子どもたちへ全国のご支援者の皆さまからのセーターを届けることができました。皆さまの想いがつまったプレゼントを手にしたとき、子どもたちは興奮と喜びに満ちて、その様子は写真ではとらえきれないほどでした。子どもたちはスタッフに教えてもらった「ありがとう」という日本語を嬉しそうに口にしていました。遠い日本からアフガニスタンの貧しい子どもを想ってくださるご支援者の皆さまのことを知って、「自分も将来は困っている人を助けられるようになりたい」と語った少年もいました。皆さまのご支援は、厳しい寒さの中、路上で生き抜くアフガニスタンの子どもたちにあたたかさ、希望、そして生きる力をもたらしています。貴社・貴会のご関係者の皆さまと、子どもたちの喜びと希望を共に分かち合っていいただければ幸いです。

このご支援に心から感謝し、これからも、世界で貧困や困難の中にある子ども達や人々への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン

1. 支援事業概要

支援事業名	子どもたちへの手編みセーター等配布事業
支援事業地	アフガニスタン・イスラム共和国ヘラート州ヘラート市 ワールド・ビジョン・アフガニスタン ストリート・チルドレン・センター
支援事業期間	2017 年 10 月 14 日～2017 年 12 月 20 日(約 3 ヶ月間)
直接受益者	ストリート・チルドレン・センターを利用する 5-18 歳の子どもたち 1,968 人
支援申請金額	1,630,000 円
内 容	物資支援として提供された手編みのセーターなどウール衣料を、ストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちの一部に配布する。

2. 支援事業地概要

(1) 事業実施国概要

アフガニスタンは、中東・中央アジアに位置する内陸国で、アフガニスタン・イスラム共和国を正式名称とする共和制国家です。2,916 万人の人口を有し、パシュトゥーン人、タジク人、ハザラ人、ウズベク人等の多様な民族が暮らしています¹。40 年近くに及ぶ紛争のため、多くの人口が平和と安定を求めて欧州諸国やアメリカ等の国外に難民として流出し、今なお約 250 万人が難民として国外に逃れたままとなっています(2017 年)²。政府軍と反政府軍との戦闘の長期化は、安定と和平への希望に影を落としており、アフガニスタン政府や国際社会が、持続可能な開発、援助からの自立、および経済発展を成し遂げるために今後も引き続き協力していくことが求められています。

(2) 事業実施地域概要

ヘラート州は首都カブールより西方 600km の距離に位置し、人口 189 万人が 17 郡に居住しています。ヘラート州は、イランとトルクメニスタンと国境を接しているため、紛争から避難する人々の主要ルートとなってきました。首都やパキスタン国境に接している地域に比較すると、紛争による直接的な影響が限定されたものの、今なお 65 万人に及ぶ国内避難民が滞在している地域です。ヘラート州は、昼と夜の気温差が激しい乾燥帯(ステップ気候)の気候区分に属します。冬には空気が乾燥し、雪が降って気温がマイナス 10 度を下回ることもあります。



冬期のヘラート州



¹ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/afghanistan/data.html#section1>

² <http://www.unhcr.org/uk/figures-at-a-glance.html>

3. 支援事業の背景と目的

(1) 支援事業の背景

～ヘラートのストリート・チルドレンの子どもたち～

ヘラート州の州都ヘラート市では、他の地域から紛争を逃れてきた人々の流入や、近年のパキスタンやイランからの帰還民の増加によって貧しい世帯が増加しています。そのため、ヘラート州はアフガニスタンの中でもストリート・チルドレン（路上で働くまたは生活する子どもたち）が最も急増している地域のひとつで、2017 年時点で 10,000 人以上いると推定されています³。そのような子どもたちは、古い布を身にまとい、物乞い、ビニール袋売り、自転車修理、靴磨きなどで生計を立てて、家族を支えなければならない状況にいます。一日中働いているために学校へ行く機会を奪われているうえに、身体的・性的暴力、犯罪への関与、麻薬の犠牲といったあらゆる搾取の危険と隣り合わせの生活を送っています。

ヘラートの厳しい寒さの冬には、ストリート・チルドレンの子どもたちの生活は一段と難しくなります。そのような子どもたちの家庭は世帯収入が低いため、防寒着や暖房を買うことができません。時にマイナス 10℃を下回る寒空の下、たくさん子どもたちが冬には適さない洋服で、凍るほど冷えた指先を動かして、ゴミ捨て場のなかからその日の食事を確保しようとしています。

～ワールド・ビジョンのストリート・チルドレン・センター～

ワールド・ビジョンは 2011 年にストリート・チルドレン・センターを設立し、路上で暮らす子どもたちに対して最低限の医療サービスの提供や、カウンセリング、学習支援やレクリエーション活動など医療・栄養・教育・心理的サポートの面で支援を提供しています。また、保護者に対しても、子どもが教育を受けることの重要性について啓発を行い、保護者が雇用機会を得て世帯の貧困状態を改善できるよう就労支援も行っています。同センターは子どもたちや保護者が立ち寄りやすいようにヘラート市の中心に位置し、現在は約 4,000 人の子どもたちが通っています。

(2) 支援事業の目的

本事業は、ストリート・チルドレン・センターを利用する子どもたちが体調を崩すことなく冬を越せるように、適切な防寒着（セーター、マフラー、帽子など）を提供することを目的としています。同時に家族や社会から十分な保護に恵まれず、厳しい環境で生きる子どもたちが、手編みのセーターを贈られることによって「あなたたちを忘れていません。あなたたちは大切な存在です。」というメッセージを受け取り、自信や尊厳を持つことができることを目指しています。

³ アフガニスタンの社会労働省の報告による

4. 支援事業内容

(1) 活動内容

ワールド・ビジョンを通してヘラート州ヘラート市のストリート・チルドレンを利用する子どもたちとそのきょうだいを対象に「世界の子どもたちへ編み物作品を贈ろうプロジェクト」ご参加者の皆さまより寄贈いただきました手編みのセーターなどを届けました。配布対象者の選定にあたっては、各利用者の家庭の状況を熟知するストリート・チルドレン・センターの指導員やワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフを中心に協議され、世帯の貧困度合いや脆弱度によって決定されました。

2017 年は 2016 年に続き 2 回目のアフガニスタンへ向けた発送となりました。10 月 14 日にセーターの箱詰め作業及び物品発送を行い、10 月 19 日に成田空港から空路にてアフガニスタンのカブール国際空港へ輸送、10 月 26 日にカブール空港到着後に税関手続きを経て 11 月 13 日にワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフが物品を受領しました。不安定な治安情勢のため、カブールからヘラートへの配送においてはワールド・ビジョン・アフガニスタンとワールド・ビジョン・ジャパンのスタッフが当時の治安状況を慎重に検討した上で、陸路ではなく空路での輸送を決定しました。12 月 11 日にカブールからヘラートへ空輸を行い、厳冬期が始まる 12 月初旬にヘラート市のストリート・チルドレン・センターまで、紛失や盗難被害もなく良好な状態で、ご支援いただいた物品を搬送することができました(12 月 14 日到着)。物品はサイズごとにセーター、マフラー、帽子などのセットで袋詰めされました。物品の贈呈は 12 月 17 日から 20 日の 4 日間に分けて行い、初回の 12 月 17 日には贈呈式を執り行いました。式典では、ストリート・チルドレン・センターのスタッフやワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフが子どもたちにセーターやマフラーを直接手渡しました。

(2) 配布物品内訳

物品	数量
セーター	1,359 着
マフラー	1,968 個
帽子	1,911 個
ベスト	28 着
手袋	2 個
靴下	4 個
合計	5,272 点

(3) 受益者内訳(性年齢別)

年齢	男子	女子	合計
5-9 歳	265 名	247 名	512 名
10-13 歳	269 名	191 名	460 名
14-18 歳	761 名	235 名	996 名
合計	1,295 名	673 名	1,968 名

※選定の過程で成長により昨年受領したセーター等が小さくなり、サイズが合う物品を今年も配布する必要があると判断されたぜい弱な世帯の子どもも約590人が含まれています。昨年配布された物品は弟や妹に譲られ、大事に使われています。

(4) 配布物品内訳(受益者年齢別)

年齢	セーター	マフラー	帽子	ベスト	靴下	手袋	合計
5-9 歳	512 点	512 点	512 点	0 点	0 点	0 点	1,536 点
10-13 歳	460 点	460 点	460 点	0 点	0 点	2 点	1,382 点
14-18 歳	387 点	996 点	939 点	28 点	4 点	0 点	2,354 点
合計	1,359 点	1,968 点	1,911 点	28 点	4 点	2 点	5,272 点

(5) 支援事業による効果

- 質の良い手編みの衣料のため耐久性が高く、長きにわたり使うことができ、貧しい家庭の家計を支えています。
- 受益者の子どもたちの多くは屋外で働いています。配布された防寒着によって、寒さによる病気から守られます。
- 受益者の子どもたちは新しく上質な衣料を着て、引け目を感じることなく友達の集まる場に行くことができます。また励まされ、通学や勉学を続けることができます。
- 普段から十分な保護を受けることができていない受益者の子どもたちが、手編みの贈り物を受け取ることで「自分は大切な存在である」というメッセージを感じることができます。

6. 現地からのメッセージ

～子どもたちの声～

ストリート・チルドレン・センターに通うリハーナちゃん(11 歳)はセーター、マフラー、そして帽子を受け取り、とてもうれしそうです。2016 年にワールド・ビジョンから編み物衣料の寄付を受けましたが、背が伸びてきたので、小さくなった衣料は妹に譲りました。リハーナちゃんは 4 人きょうだいの一番上で、小学校 3 年生です。お父さんは日雇い労働者で、リヤカーに野菜を積んで、売り歩いています。お母さんは家でピスタチオの殻を割って、街で売る仕事をしています。稼ぎは一日あたり約 120 円です。リハーナちゃんはお母さんのお手伝いをしています。リハーナちゃんは言います。「うちには燃料を買うお金がないから、売ったピスタチオのあとに残った殻を燃料にして、家のなかを暖めているの。」そう言いながら、お母さんが殻をかまどに投げ込むのを眺めています。家族がお風呂に入ったり、洗い物をしたりするお湯も、同じ火で沸かしています。殻が足りない時は、火を起こせないため、お風呂にはたまにしか入ることしかできません。食器も冷たい水で洗っています。リハーナちゃんは新しく贈られた衣料に大興奮です。「学校に行くとき、この新しい服を着てくのよ。カラフルで柔らかい！長く着続けたいから、大切にするわ。」

リハーナちゃん(11 歳)



カテマちゃん(11歳)



カテマちゃんは10歳ですが、まだ小学校一年生の学級にいます。「うちに学校用品を買う余裕がなかったから、入学するのが遅れたの。」学校に行く代わりに、街でゴミ拾いをする生活をせざるを得なかったのです。ゴミ拾いをしながら、制服を着て学校に通う子たちをうらやましく思っていました。「学校に通いたって、毎日毎日お父さんとお母さんに頼んでいたら、行かせてもらえるようになったの。」ゴミ拾いしたもの

を売ったお金から、学校で使うペンやノートを買いました。お姉さんが使っていた制服を着て通学しています。

お父さんは重い病気に罹っていて、仕事できません。お母さんは羊毛を洗う仕事をして、日々の生活費を稼いでいます。家を暖めるヒーターや燃料を買う余裕はありません。「私はガラス、プラスチックそして古紙を(ゴミの中から)集めるの。ガラスを売ったお金はお母さんに渡して、プラスチックと紙は家を暖めるための火の燃料にするのよ。」でも、これらを燃やす臭いが近所から嫌がられています。「苦情を言われるの。燃やした臭いや煤がカーテンや服に付くみたい。お母さんは、目立たないように、夜だけ燃やしているわ。」

今日、カテマちゃんはセーター、マフラー、そして帽子を受け取りました。新しい衣類を何度も眺めては、撫でています。「私のサイズにぴったり。着心地はとてもいいわ。私もこういう衣類を編めるようになりたいな。」

～ワールド・ビジョン・アフガニスタンのスタッフより～

寒い日が続くアフガニスタンのヘラートから、日本の皆さまに感謝を申し上げます。

ここに通う子どもたちには、暖かい衣料が十分にありません。この寒い季節には必要なのですが、貧しくて買うことができないのです。皆さまの贈り物で、子どもたちはこの厳しい冬を、暖かく過ごすことができます。

セーターを手渡したときの子どもたちの幸せそうなようす、興奮したようす、あたたかくて、新しくて、色とりどりのセーターを一生懸命に着て私たちに見せようとするようすを皆さまにも見ていただけたらどんなに良いだろうかと思いました。ご報告させていただいた写真やストーリーは子どもたちの喜びのほんの一部に過ぎません。

遠い日本からアフガニスタンの子どもたちのことを想ってくださった皆さまのお心遣いに、心から感謝申し上げます。

ワールド・ビジョン・アフガニスタン

ヌルディーン・ハキヤール(プログラム・オフィサー)

ナルゲス・ギャファリー(コミュニケーション・オフィサー)

6. 会計報告

収支計算書

内容	実績(円)
ご支援金額(物品寄付)	¥2,027,200
ご支援金額(募金)	¥2,210,000
MS&ADゆにぞんスマイルクラブ様より	¥1,630,000
一般募金者より	¥580,000
収入額合計	¥4,237,200
寄付物品価格（セーター、マフラーなど）	¥2,027,200
輸送費	¥1,326,825
現地配布にかかる費用	¥303,235
現地事業費合計	¥3,657,260
啓発教育費及び地域開発援助事業管理費等	¥579,940
支出額合計	¥4,237,200
差額	¥0

【連絡先】

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー3F

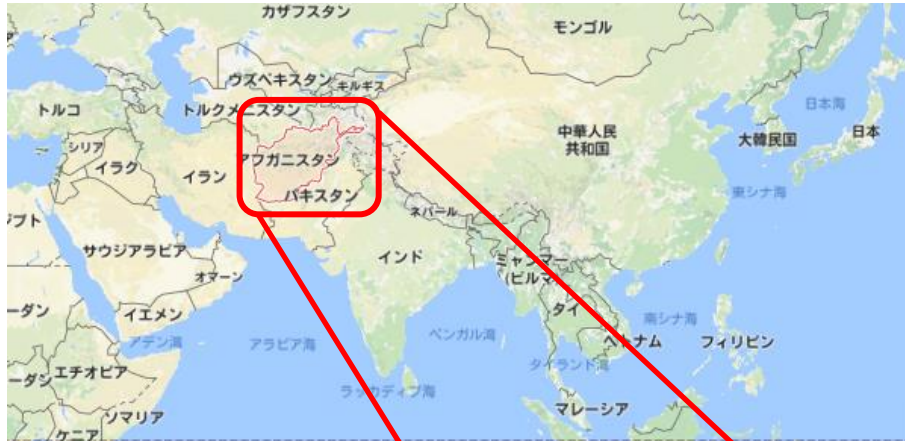
TEL: 03-5334-5350 FAX: 03-5334-5359

担当: 平田(マーケティング第1部法人・特別ドナー課)

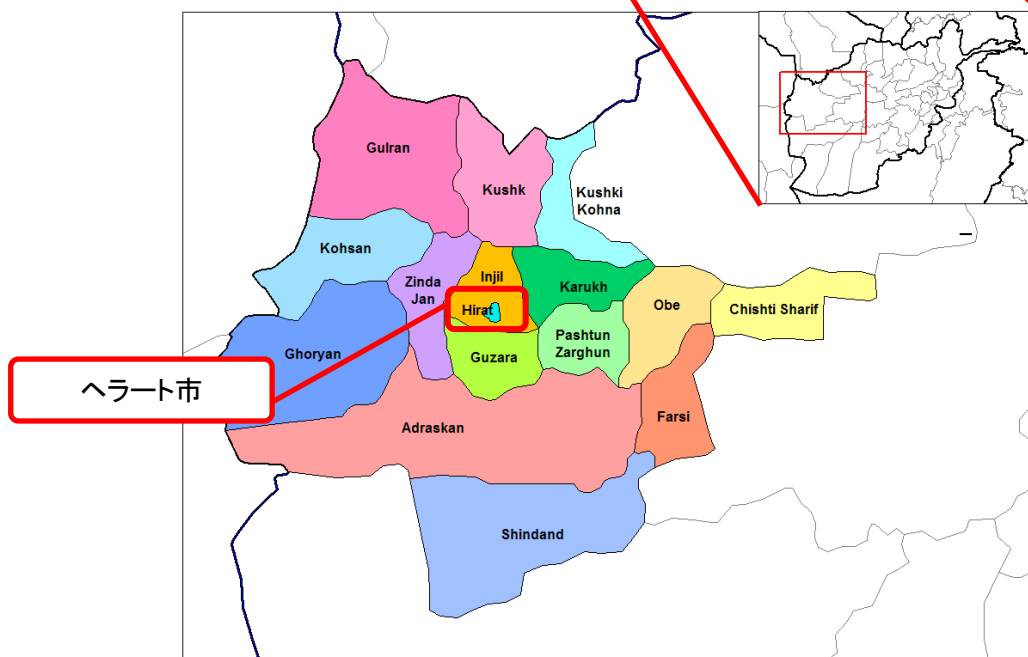
【添付資料】

(1) 支援地地図

アフガニスタン



ヘラート州拡大図



(2) 支援事業写真



①贈呈式にてスタッフが日本全国の支援者の方からの贈り物が届いたことを説明しているようす(12月17日)



②贈呈式にてスタッフが男の子のセーターの試着を手伝っているようす



③試着を終えた女の子たちと記念撮影



④受け取った袋の中身をお友だちと確認する男の子



⑤贈呈式のあと、嬉しそうな表情を見せる男の子たち



⑥受け取った帽子を身につける男の子



⑦編み手の方の名前ラベルを見せる女の子たち



⑧セーター、マフラー、帽子の3点セットを身につけて嬉しそうな子たち

以上